

全顔面移植を受けた患者がカメラの前に一ス ペイン



—Independent、下画像はサン紙より—

今年3月20日、バルセロナにある「Vall d'Hebron University Hospital」で、世界初となる全顔面移植手術を施された男性が、カメラの前に姿を現しました。男性はオスカーという名の31歳の農夫で、銃の暴発により顔面を損傷。これまでに再建手術を9回施されましたが、いずれも上手くいかず、移植を決定した同病院の形成外科主任、ジョーン・ペーラ・バレット博士が執刀、30名の医師団とともに、24時間の工程であご、鼻、頬骨、筋肉、歯とまぶたといった全顔面の移植手術がおこなわれました。



事故後、口からは摂食できなかった男性はすでに退院し、飲料ややわらかいものを食べることができるようになったほか、言葉を発するなど顔面の筋肉も部分的に回復の兆しをみせているそうです。ただしまぶたはまだ完全に閉じることはできないそうです。

また、心配された拒絶反応ですが、4週目と2か月目と3か月目の間に起こり、そのどちらも薬物投与で抑えられたということです。

ジョーン・ペーラ・バレット博士は、これから1年もしくは1年半かけて物理療法を施せば、顔の機能の90%までは回復できると述べています。

フランスで初めての顔面全移植手術に成功
 顔面を移植した女性

Face transplant

顔面移植の女性、来月より仕事に復帰

中国で男性の顔面移植

中国の顔面移植、その後

フランスで初めての顔面全移植手術に成功

アメリカで顔面の80%の移植手術が成功

アメリカ二例目となる顔面移植患者が会見

スペインで世界初となる全顔面移植術

スペインで二例目となる顔面部分移植患者が会見